

年 報 • 紀 要

令和4年度

半田市立博物館

目 次

年 報

1. 施設概要	2
2. 組織図	3
3. 半田市博物館協議会	
(1) 協議会委員	4
(2) 協議会日程	4
4. 展示活動	
(1) 企画展示	5
(2) その他の展示	15
(3) 山車展示	15
5. 教育普及活動	
(1) 博物館講座・講演会等	16
(2) 視察及び見学	16
(3) 半田市内小学校3年生の見学学習	17
6. 資料の収集・整理・保存	
(1) 刊行物の寄贈	18
(2) 資料寄贈	19
(3) 収蔵資料点数	20
7. 半田市立博物館友の会活動	21
8. 文化財保護事業	
(1) 文化財専門委員会	21
(2) 文化財の保護	21
(3) 保存修理・保存施設整備補助事業	24
(4) 旧中埜家住宅保存管理事業・保存活用事業	25
9. 入館者数	26

1. 施設概要

(所 在 地) 半田市桐ヶ丘4-209-1

【開 館】 昭和 59 年 10 月 1 日

【敷地面積】 10,318.40 m²

【建築面積】 3,425.27 m²

【延床面積】 5.151.48 m²

【博物館】 1,881.50 m²

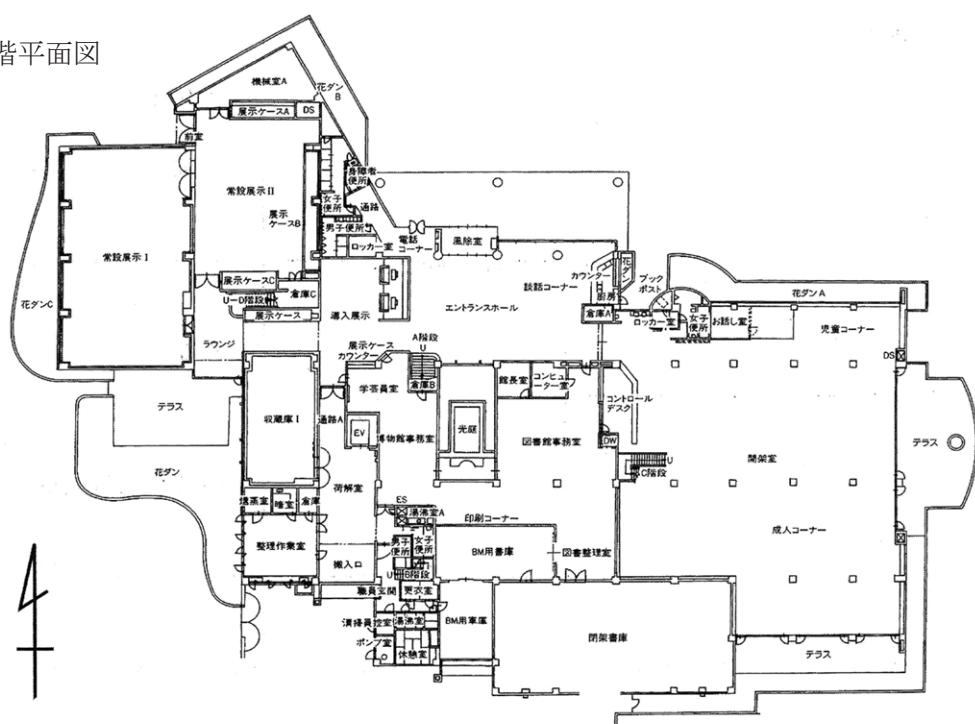
【構造】 鉄筋コンクリート造 2階建 塔屋1階

【館内施設】（図書館との共有部分を含む）

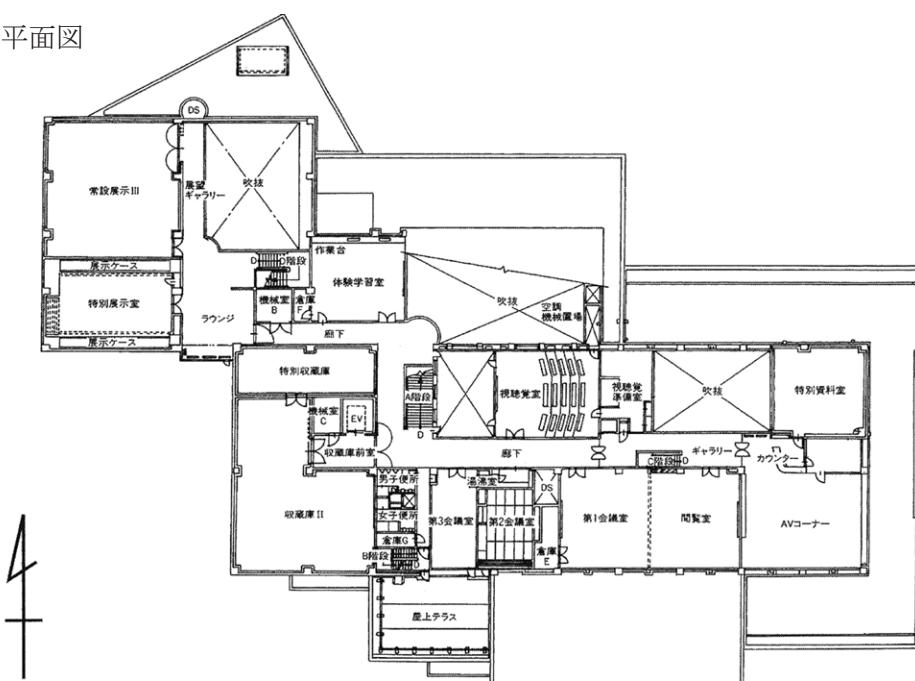
1階 常設展示室Ⅰ、常設展示室Ⅱ、収蔵庫Ⅰ、煙蒸室、整理作業室、事務室など

2階 常設展示室Ⅲ、特別展示室、体験学習室、特別収蔵庫、収蔵庫Ⅱ、視聴覚室など

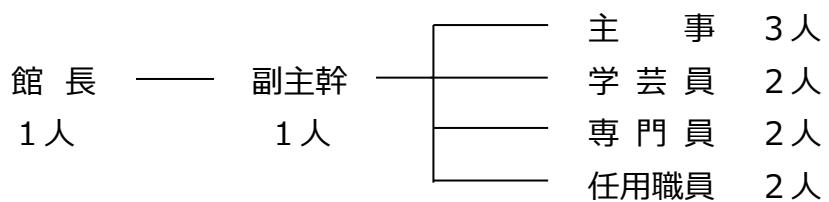
1 階平面図



2階平面図



2. 組織図（令和4年4月1日現在）



職種別内訳

職名 補職名	主事	学芸員	専門員	会計年度 任用職員	合計
課（館）長	1人				1人
副主幹	1人				1人
主事	3人				3人
学芸員		2人			2人
専門員			2人		2人
会計年度 任用職員				2人	2人
合計	5人	2人	2人	2人	11人

3. 半田市博物館協議会

半田市博物館協議会は、博物館法第 20 条の規定により設置され、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

半田市立博物館条例第 11 条の規定に基づき、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者の中から教育委員会が任命する。（定員 10 人、任期 2 年）

（1）協議会委員（令和 4 年 9 月 1 日）

氏名	分野	摘要
井手 満技	社会教育関係者	博物館友の会会長
佐野 景子	学識経験者	桐塑人形作家
柴垣 勇夫	学識経験者	元愛知淑徳大学教授
立松 彰	学識経験者	東海市立平洲記念館・郷土資料館前館長
藤堂 正喜	学校教育関係者	半田市小中学校社会科研究部長
新美 玲子	家庭教育の向上に資する活動を行う者	伝統文化お茶お花子ども教室主催
本美 信一	社会教育関係者	半田市文化協会理事
松見 直美	観光振興関係者	知多半島観光圏協議会事業推進事務所前所長

（2）協議会日程

日 程：令和 5 年 3 月 24 日（金）

会 場：半田市立博物館 第 3 会議室

議 題：・令和 4 年度事業等報告並びに令和 5 年度事業計画及び予算について

・企画展「新収蔵品展」について

4. 展示活動

(1) 企画展示

「第37回 知多工芸展」

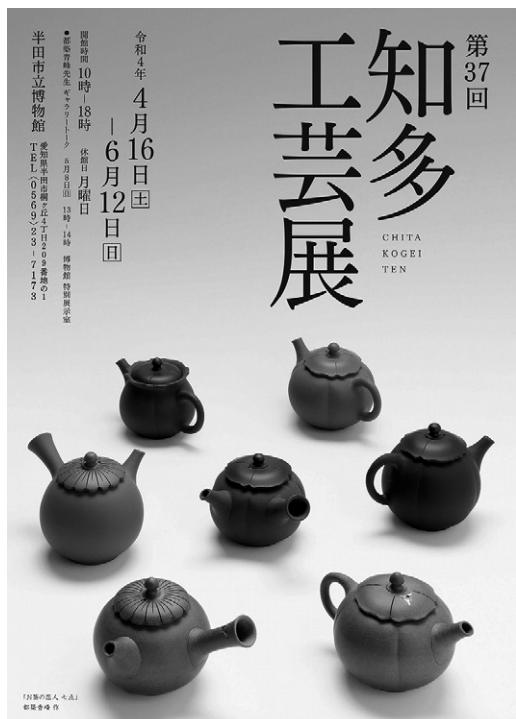
期 間：令和4年4月16日（土）～6月12日（日）

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：9,777人

展示内容：知多半島の工芸作家（陶芸・人形・染織・ガラス工芸）26名の作品を展示了。

展示点数：30点



出品作品一覧

部 門	氏 名	作 品 名
陶 芸	伊藤 雄志	練込大鉢
	片岡 誠	自然釉花生
	加藤 真美	フロスト釉花器
	鯉江 廣	あけばの彩茶注三趣
	小西 洋平	真焼茶注
	柴田 正明	飛翔する思考 A / 飛翔する思考 B
	清水 北條	梨皮朱泥茶銚 / 焼締南蛮急須
	杉江 幸治	自然釉四方花器
	竹内 孝一郎	灰釉大鉢
	谷川 省三	馬上杯 黃瓷・孔雀・藍青
	谷川 仁	梨皮茶銚
	都築 青峰	お茶の恋人 七点
	富本 敏裕	花入れ
	水上 勝夫	灰被窯変花器
	水野 真澄	絆
	村越 風月	常滑茶注三趣
	四代 山田 常山	常滑「花入」
	山田 想	常滑茶碗
	山田 孝藏	彩陶器
	山本 淳平	Wonderful world
人 形	小林 佳子	神庭
	佐野 景子	緑香
ガラス工芸	平岡 和広	大地のツイート
染 織	小林 佐智子	風通織木綿着物「祭唄の余韻」
	杉浦 雅子	紬織着物「零」
	二宮 祐子	華

企画展「知多半島の化石」

期 間：令和4年6月25日(土)～9月4日(日)

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：24,155人

展示内容：師崎層群から見つかった深海生物の化石群を

中心に、知多半島の化石や地質を紹介した。

展示点数：約150点



展示資料一覧

師崎層群の化石（新生代新第三紀中新世）			55 ハダカイワシの一種	東海化石研究会	102 タナイカシ	豊橋市自然史博物館
No.	和名	所蔵	56 ハダカイワシの一種	東海化石研究会	103 タナイカシ	豊橋市自然史博物館
1	タヌキブンブク属の一種	半田市立博物館	57 ハダカイワシの一種	東海化石研究会	104 (黄) タナイカシ (赤) ヤナギ属の一種	豊橋市自然史博物館
2	サバの一種（※昨年の発掘調査で採集）	名古屋大学博物館	58 ミカドハダカ	東海化石研究会	105 (黄) タナイカシ (赤) ヤナギ属の一種	豊橋市自然史博物館
3	トカゲギス（※昨年の発掘調査で採集）	名古屋大学博物館	59 ミカドハダカ	東海化石研究会	106 クリノキ属の一種	豊橋市自然史博物館
4	タチモドキ（※昨年の発掘調査で採集）	名古屋大学博物館	60 ミカドハダカ	東海化石研究会	107 ワリノキ属の一種	豊橋市自然史博物館
5	ハダカイワシの一種（※昨年の発掘調査で採集）	名古屋大学博物館	61 生痕化石	半田市立博物館	108 ササに似た葉	豊橋市自然史博物館
6	ヒガシホウライソ（※昨年の発掘調査で採集）	名古屋大学博物館	62 生痕化石	半田市立博物館	109 ヤナギ属の一種	豊橋市自然史博物館
7	ハダカイワシの一種	半田高校自然科学部			110 ヒシの仲間	豊橋市自然史博物館
8	ウキエソの一種	半田高校自然科学部			111 ヒシの仲間	豊橋市自然史博物館
9	腕足類の化石	半田高校自然科学部	No.	和名	所蔵	112 植物の種子
10	クモヒトデの一種	半田高校自然科学部	63 シオガマフミガイ	西尾市教育委員会	113 木片・植物片	豊橋市自然史博物館
11	タヌキブンブク属の一種	半田高校自然科学部	64 ダイオウシラトリガイ	西尾市教育委員会	114 コハク	豊橋市自然史博物館
12	チタスナモグリ	半田高校自然科学部	65 キリガイダマシ	西尾市教育委員会	115 高師小僧	半田市立博物館
13	二枚貝の化石	半田高校自然科学部	66 イズラシラトリガイ	西尾市教育委員会		
14	巻貝の化石	半田高校自然科学部	67 ヘナタリ	西尾市教育委員会	野間層の化石（新生代第四紀更新世）	
15	ベッカミニシキ	東海化石研究会	68 フナクイムシ	西尾市教育委員会	No.	和名
16	チジワバイ	東海化石研究会	69 ムカシブンブク属の一種	西尾市教育委員会	116 ブラウンシシカゲガイ	豊橋市自然史博物館
17	ユナガヤソデガイ	東海化石研究会	70 モミジガイ属の一種	西尾市教育委員会	117 トリガイ	豊橋市自然史博物館
18	オオハネガイ	東海化石研究会	71 マツ類の球果	西尾市教育委員会	118 トリガイ	豊橋市自然史博物館
19	ミノアツリア	瑞浪市化石博物館	72 生痕化石	西尾市教育委員会	119 カガミガイ	豊橋市自然史博物館
20	ミズノテングエビ	東海化石研究会	73 コダイアマモの一種	西尾市教育委員会	120 バカガイ	豊橋市自然史博物館
21	ミズノテングエビ	瑞浪市化石博物館			121 トリガイ	豊橋市自然史博物館
22	チュウコシリオエビ科の未定種	瑞浪市化石博物館			122 トリガイ	半田市立博物館
23	ムツアシガニ属の未定種	瑞浪市化石博物館	No.	和名	所蔵	123 バカガイ
24	コウナガカイムリ属の未定種	瑞浪市化石博物館	74 ヨコヤマピカリ亞	瑞浪市化石博物館	124 カガミガイ	半田市立博物館
25	チタスナモグリ	東海化石研究会	75 ミヅナミホタテ	瑞浪市化石博物館	125 ゴイサガイ	半田市立博物館
26	チタスナモグリ	東海化石研究会	76 ウソシジミ	瑞浪市化石博物館		
27	“カニ石”（ノジュール）	半田市立博物館	77 ノムラガミガイ	瑞浪市化石博物館	伊勢湾・衣浦湾の化石（新生代第四紀完新世）	
28	テリオクリヌス	瑞浪市化石博物館	78 シラトリアリ	瑞浪市化石博物館	No.	和名
29	クモヒトデの一種	東海化石研究会	79 ミノサザエ	瑞浪市化石博物館	126 サンドバイプ（生痕化石）	半田市立博物館
30	キクバヒトデの一種	東海化石研究会	80 イズモユキノアシタガイ	瑞浪市化石博物館	127 ケバエンコウガニ	瑞浪市化石博物館
31	キクバナヒトデの一種	名古屋大学博物館	81 ノコギリガザミ	瑞浪市化石博物館	128 ノコハオサガニ	瑞浪市化石博物館
32	ゴカヒトデの一種	東海化石研究会			129 ケバエンコウガニ	瑞浪市化石博物館
33	(黄) ゴカヒトデの一種 (赤) ドラステル・ミズノイ	名古屋大学博物館			130 ノコハオサガニ	瑞浪市化石博物館
34	ドラステル・ミズノイ	東海化石研究会	No.	和名	所蔵	131 ムカシケグラガニ
35	ドラステル・ミズノイ	東海化石研究会	82 シナノドガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	132 イシガニ	瑞浪市化石博物館
36	ナマハゲフクロウニ属の一種	東海化石研究会	83 シナノドガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	133 マルバガニ	瑞浪市化石博物館
37	タヌキブンブク属の一種	瑞浪市化石博物館	84 シナノドガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	134 ハイケガニの仲間	名古屋大学博物館
38	タヌキブンブク属の一種	東海化石研究会	85 シナノドガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	135 ハイケガニの仲間	名古屋大学博物館
39	オンデンゲメの歯	瑞浪市化石博物館	86 シナノドガイ属の一種	半田市立博物館	136 ヒシガタコブシ	名古屋大学博物館
40	アオザメ属の歯	瑞浪市化石博物館	87 クサビシガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	137 ナナトゲコブシ	名古屋大学博物館
41	ソコラの一種	東海化石研究会	88 クサビシガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	138 ナナトゲコブシ	名古屋大学博物館
42	サガミソコラの一種	東海化石研究会	89 クサビシガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	139 イボイチョウガニ	名古屋大学博物館
43	サバの一種	東海化石研究会	90 シナノドガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	140 ハリトリコブシ	名古屋大学博物館
44	キヂジ	東海化石研究会	91 マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	141 ヘリトリコブシ	名古屋大学博物館
45	タチモドキ	東海化石研究会	92 マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	142 イシガニ	名古屋大学博物館
46	タチモドキ	瑞浪市化石博物館	93 マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	143 ムカシケグラガニ	名古屋大学博物館
47	アブラガレイ	東海化石研究会	94 マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	144 ヒメツツジガニ	名古屋大学博物館
48	トカゲギス	瑞浪市化石博物館	95 マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	145 イソガニの仲間	名古屋大学博物館
49	キツネソコギス	瑞浪市化石博物館	96 マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	146 インガニの仲間	名古屋大学博物館
50	ウキエソの一種	東海化石研究会	97 オトコタテボシガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	147 オヨギンノ	名古屋大学博物館
51	ヒガシホウライソ	東海化石研究会	98 マルタニシ属の一種	豊橋市自然史博物館	148 カニダマシの仲間	名古屋大学博物館
52	ハダカイワシの一種	東海化石研究会	99 タニシの仲間	半田市立博物館	149 マメウニの仲間	名古屋大学博物館
53	(黄) ハダカイワシの一種 (赤) チョウコシリオエビの一種	東海化石研究会	100 ヒメタニシ属の一種	豊橋市自然史博物館	150 メジロザメ属の歯ほか	名古屋大学博物館
54	ハダカイワシの現生種（液浸標本）	東海化石研究会	101 イガタニシ属の一種	豊橋市自然史博物館		

館藏品展「鈴木花蓑展」

期 間：令和4年9月17日(土)～11月6日(日)

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：10,641人

展示内容：俳句誌や短冊、直筆の原稿や手紙を展示し、

花蓑の生涯や周囲の人々について紹介した。

展示点数：30点



15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
ホトトギス 第三十一卷第十一號	ホトトギス 第三十三卷第三號	ホトトギス 第二十五卷第六號	ホトトギス 第二十四卷第六號	アヲミ 一八九號	アヲミ 一三八號	アヲミ 一八七號	アヲミ 百八號	アヲミ 一八一號	原稿	鈴木花菴句集	ホトトギス 第四十六卷第五號	ホトトギス 第三十七卷第二號	ホトトギス 第三十七卷第六號	作品名	
昭和三年八月一日	昭和四年十二月一日	大正十年三月一日	昭和十七年十一月二七日	昭和十三年八月一日	昭和十七年九月一日	昭和六年二月一日	昭和十七年三月一日	昭和二年九月三〇日	昭和十八年一月二十五日	昭和十七年十一月一日	昭和八年十一月一日	昭和八年四月一日	昭和十四年四月一日	発行日	
半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	碧南市	碧南市	碧南市	碧南市	碧南市	碧南市	半田市立博物館	半田市立図書館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	所蔵	

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16		
書簡 破魔弓	ホトトギス 第三十九第一號	ホトトギス 第三十二卷第四號	短冊	短冊	短冊	短冊	短冊	色紙	掛軸	掛軸	掛軸	ホトトギス 第三十五卷第七號	ホトトギス 第三十三卷第九號	ホトトギス 第三十二卷第十號	作品名	
一	大正十四年二月一日	昭和十年十月一日	昭和四年一月一日	一	一	一	一	一	一	一	一	昭和七年四月一日	昭和五年六月一日	昭和四年七月一日	発行日	
碧南市	半田市立図書館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立図書館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立図書館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	所蔵	

「第37回半田市立博物館 友の会合同展」

期 間：令和4年12月3日(土)～12月25日(日)

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：4,395人

展示内容：博物館友の会各部員の会員による作品を

展示した。

展示点数：113点



第37回 半田市立博物館 友の会合同展

拓本・はたおり・染色・陶芸・古文書・歴史の各部会員の作品を展示致します

令和4年 12月3日㈯～12月25日㈰

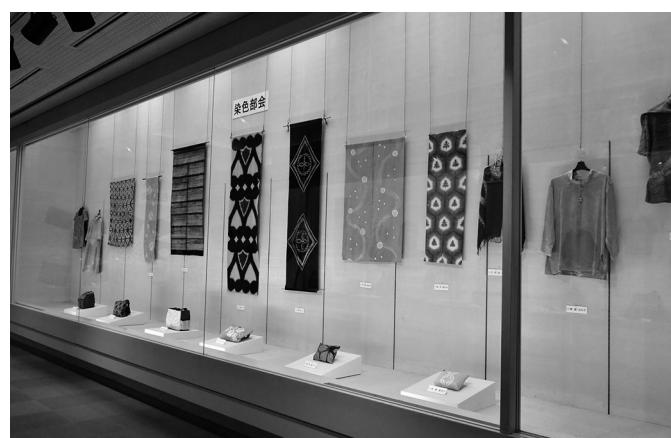
開館時間 10:00～18:00 (最終日17:00まで)

休館日 12月5日㈪、12月12日㈪、12月19日㈪

半田市立博物館

〒475-0029
愛知県半田市中央町5-4丁目20番地の1

TEL (0569) 23-7173



展示資料一覧

部会名	主な作品	点 数
染色部会	テーブルセンター・タペストリー・のれん・袋・スカーフ・チュニック・ブラウス・Tシャツ・エコバッグ・ショルダーバック・バッグ、ポシェット など	40 点
はたおり部会	織り布・バッグ・ポーチ・チュニック・ブラウス・ランチョンマット・敷物・タペストリー・ブラウスとサルエルパンツ・トートバック・スカート など	36 点
古文書部会 古文書研究会	平家物語絵巻（明星大学蔵）巻十一 那須の与一の事（29頁～34頁） 北条 義時文書 3点	2 点
陶芸部会	花器・食器・松竹梅絵付花器・焼締め花器・かいらぎ抹茶碗 など	15 点
歴史部会	令和4年度現地研修および室内研修資料	1 点
拓本部会	神谷定女句碑・花かつみ伝承の地碑・音声菩薩・色拓音声菩薩・松尾芭蕉句碑・モニュメント台座・良寛句碑・賀川豊彦詞碑・高浜虚子句碑・安藤(歌川)広重銅板画碑・会津八一歌碑・日々是好日・相田みつを詞碑・風葉碑 など	19 点



新収蔵品展

期 間：令和5年3月4日（土）～4月9日（日）

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：7,401人

展示内容：令和元年以降、博物館に寄贈された1,000点を

超える資料の中から、自然・歴史・生活・美術品など、

学芸員が厳選した様々なジャンルの資料を展示了。

展示点数：112点



展示資料一覧

No.	分類	寄贈年月日	内 容	No.	分類	寄贈年月日	内 容
1	生 活	令和2年7月4日	芋切り機	57	生 活	令和5年1月19日	種豚血統證明書
2	生 活	令和3年3月4日	竜吐水	58	生 活	令和5年1月19日	移動證明書
3	生 活	令和2年6月6日	荷積車鑑札	59	生 活	令和5年1月19日	賞金授與證
4	生 活	令和3年10月22日	電鍵	60	生 活	令和5年1月19日	血統書
5	生 活	令和2年2月18日	プロカルキュラー	61	歴 史	令和4年3月24日	大日本交通全図
6	生 活	令和2年2月18日	オキシヘーラー	62	歴 史	令和元年8月23日	愛知縣地圖
7	彫 刻	令和3年12月15日	觀音像	63	歴 史	令和5年1月19日	尋常小學理科書（第四學年兒童用）
8	絵 画	令和元年6月25日	「樹澗」	64	歴 史	令和5年1月19日	小學國語讀本 卷二（尋常科用）
9	絵 画	令和元年6月25日	「梅」	65	歴 史	令和5年1月19日	尋常小學修身書 卷三（兒童用）
10	絵 画	令和5年1月6日	「龍（雲龍）」	66	歴 史	令和5年1月19日	尋常小學算術 上（第四學年兒童用）
11	絵 画	令和3年7月15日	「Cantabile」	67	歴 史	令和5年1月19日	國民禮法（初等科第五學年）
12	絵 画	令和3年3月20日	年賀状	68	歴 史	令和5年1月19日	尋常小學裁縫書（第四學年）
13	絵 画	令和3年3月30日	「桃」	69	生 活	令和4年3月24日	番傘
14	絵 画	令和3年3月30日	「ビーマン」	70	歴 史	令和3年11月5日	九八式軍衣
15	絵 画	令和3年3月30日	「海岸」	71	歴 史	令和3年4月13日	出征旗
16	絵 画	令和元年6月16日	スケッチ	72	歴 史	令和3年4月13日	鉄帽
17	掛 軸	令和3年12月11日	「淡青綠松林山水絹本着方幅」	73	歴 史	令和3年4月13日	陸軍歩兵学校教導連隊寫真帖
18	掛 軸	令和3年12月11日	「山水図」	74	歴 史	令和3年4月13日	戦争関係写真
19	掛 軸	令和3年12月15日	「淡彩溪山幽居之図絹本着」	75	歴 史	令和3年3月23日	委嘱状
20	工芸品	令和3年12月11日	盆（山本石叟 画）	76	歴 史	令和3年3月23日	第三師管 國防婦人會 役員章
21	絵 画	令和4年2月2日	山本梅莊・石莊宛の葉書	77	歴 史	令和3年3月23日	愛國婦人會 有功章
22	絵 画	令和3年12月11日	「雀」	78	歴 史	令和3年3月23日	愛國婦人會 佩有功章 特別會員
23	絵 画	令和4年9月30日	画帖「花月帖」	79	歴 史	令和3年3月18日	勲七等青色桐葉章
24	絵 画	令和4年9月30日	画帖「墨華帖」	80	歴 史	令和3年3月23日	「大陸行進曲」（ピクターレコード）
25	工芸品	令和3年9月2日	茶道具入れ（山本梅莊 画）	81	歴 史	令和3年3月23日	「興亜行進曲」（コロムビアレコード）
26	絵 画	令和3年12月15日	色紙	82	歴 史	令和3年3月23日	「愛馬進軍歌」（ピクターレコード）
27	絵 画	令和3年12月15日	色紙	83	歴 史	令和3年3月23日	「國民進軍歌」（ピクターレコード）
28	絵 画	令和3年12月15日	色紙	84	歴 史	令和3年3月23日	「父よあなたは強かつた」（コロムビアレコード）
29	絵 画	令和3年12月15日	色紙	85	歴 史	令和3年3月23日	「陸軍現用機爆音集」（ニッヂク）
30	絵 画	令和3年5月18日	六曲一双屏風	86	歴 史	令和3年3月23日	「世界一周大飛行の歌」（ピクターレコード）
31	掛 軸	令和4年12月21日	「花鳥之図」	87	歴 史	令和3年3月23日	「大陸行進曲」（ピクターレコード）
32	掛 軸	令和4年12月21日	「未広がり」	88	歴 史	令和3年3月23日	「愛馬進軍歌」（キングレコード）
33	掛 軸	令和3年12月15日	「兜」	89	生 活	令和4年12月14日	通い徳利
34	彫 刻	令和3年3月6日	觀音像	90	生 活	令和4年12月14日	五升樽
35	工芸品	令和3年12月15日	「名乗笛」	91	生 活	令和2年11月13日	百万遍
36	工芸品	令和2年3月11日	火鉢	92	祭 礼	令和4年7月28日	提灯
37	陶 芸	令和2年11月11日	「釉彩紋花瓶」	93	生 活	令和2年8月15日	手記
38	陶 芸	令和2年11月11日	「あかり」	94	歴 史	令和4年11月13日	古錢
39	版 画	令和4年2月3日	「白樺林」（木版画）	95	歴 史	令和2年8月7日	紀元2600年記念日本万国博覽会回数入場券
40	絵 画	令和3年3月14日	「半田市立図書館・博物館」	96	生 活	令和2年8月7日	井戸の滑車
41	絵 画	令和3年3月30日	「半田赤レンガ建物」	97	生 活	令和3年3月7日	散髪屋の道具
42	絵 画	令和3年3月25日	「矢勝川の彼岸花」	98	歴 史	令和元年5月28日	伊勢湾台風の記録写真
43	絵 画	令和3年3月14日	「春の山車まつり（協和車）」	99	歴 史	令和元年8月21日	罹災證明書
44	絵 画	令和3年3月25日	「常滑やきもの散歩道」	100	歴 史	令和元年8月21日	家屋（住宅）応急修理決定書
45	自然	令和4年8月3日	昆虫標本	101	歴 史	令和元年10月11日	伊勢湾台風関係書類綴
46	自然	令和3年12月21日	化石標本	102	歴 史	令和元年10月25日	成岩神社昇格関係書類
47	自然	令和3年12月21日	生痕化石	103	歴 史	令和3年3月16日	童蒙酒造記
48	歴 史	令和3年3月4日	半田第一尋常高等小学校卒業記念帖	104	生 活	令和元年8月23日	雜記帳
49	歴 史	令和4年10月8日	會員名簿（知多郡教員總会）	105	生 活	令和元年8月23日	細字練習帳
50	生 活	令和4年3月24日	日傭勤怠表	106	歴 史	令和2年7月10日	新聞記事「大本營門標発見」
51	歴 史	令和元年12月21日	第17回卒業記念廣島高等師範学校卒業アルバム	107	歴 史	令和3年9月15日	證書
52	生 活	令和5年1月19日	乳牛による畜力利用	108	祭 礼	令和3年3月23日	古文書「知多郡乙川村北組若者定序」
53	生 活	令和5年1月19日	知多牛乳組合員牛及山羊籍簿	109	歴 史	令和4年3月26日	中島飛行機半田製作所内歌樂譜
54	生 活	令和5年1月19日	願届留	110	歴 史	令和4年3月26日	手紙
55	生 活	令和5年1月19日	牛籍簿	111	歴 史	令和4年3月26日	中島飛行機半田製作所内「彩雲」組立て風景写真
56	生 活	令和5年1月19日	日記	112	歴 史	令和3年7月20日	中島飛行機半田製作所 製図用机

(2) その他の展示

タイトル	期 間	観覧者数	備 考
原爆と人間展	7月15日(金)～ 8月30日(火)	16,601人	主催：半田市（担当：総務課） 会場：1階 通路壁面
愛知やきものヒストリー2022	7月16日(土)～ 9月4日(日)	17,902人	会場：1階 受付前
認知症理解促進展示会	9月9日(金)～ 9月19日(月)	2,929人	主催：半田市（健康課） 会場：1階ロビー・2階通路壁面
かぼちゃのおもさ当てクイズ	9月22日(木)～ 10月22日(土)	5,499人	会場：1階 受付前
知多中部広域少年消防クラブ 防火作品展	11月8日(火)～ 11月23日(水)	3,211人	主催：知多中部広域事務組合消防本部 会場：2階 特別展示室前
半田市・徐州市児童書画作 品展	11月11日(金)～ 11月27日(日)	4,126人	主催：半田市（担当：秘書課） 会場：2階 特別展示室
第51回 半田さわやか教育展	1月13日(金)～ 1月24日(火)午前	5,400人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
半田市小中学校書写展	1月25日(水)～ 2月3日(金)午前	3,375人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
第38回 半田市中学校美術部展	2月4日(土)～ 2月10日(金)午前	1,801人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
第38回半田市造形教育展	2月11日(土)～ 2月22日(水)午前	4,774人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
ミニ展示「ひなまつり展」	2月4日(土)～ 3月5日(日)	9,353人	会場：1階 受付前

(3) 山車展示

区 分	搬 入	組上げ	搬 出
乙川西山神楽車	令和4年3月27日(日)	令和4年4月3日(日)	令和4年6月26日(日)
板山大湯組花王車	令和4年6月26日(日)	令和4年7月3日(日)	令和4年10月23日(日)
西成岩西組敬神車	令和4年10月23日(日)	令和4年10月30日(日)	令和5年3月19日(日)

5. 教育普及活動

(1) 博物館講座・講演会等

タイトル	日 程	講 師	人 数
勾玉をつくろう	6月4日（土）	博物館学芸員	4組 10人
企画展記念講演会「世界第一級の深海化石発掘調査プロジェクト～師崎層群と東海化石研究会～」	7月2日（土）	水野 吉昭 氏	30人
文化財見学会（大池古窯）	7月23日（土）	近藤 英正 氏	5人
化石を発掘しよう！～木の葉化石編～ （会場：第1会議室）	7月24日（日） 8月6日（土）	博物館学芸員	21人 30人
企画展関連イベント 「コハクを磨いて昆虫を観察しよう！」	7月30日（土） 7月31日（日）	東海化石研究会	48人 54人
天然石できれいな万華鏡を作ろう！	8月14日（日）	博物館学芸員	31人
化石を発掘しよう！～木の葉化石編～ （会場：エントランスホール）	8月27日（土） 8月28日（日）	博物館学芸員	90人 100人
和本を作ろう！	10月9日（日）	博物館学芸員	20人
夜の図書館・博物館で怖～い話を聞く会	8月5日（金）	図書館・博物館共催	30人
文化財よもやま話(全8回)	9/10(土)、11(日)、 17(土)、18(日)	文化財専門委員	183人
てんごく講座	11月12日（土）	吉原 愛璃 氏	9人
ハーバリウムづくり	12月17日（土）	近藤 水名子 氏	3人
古文書講座	令和5年 1月21日（土）	博物館専門員	32人

(2) 観察及び見学

月 日	時 間	団体名等	人 数	場 所	解説
8月6日（土）	10:30～12:30	半田市観光ガイド協会	20人	博物館	○
9月22日（土）	13:10～14:10	春日井市文化財ボランティアの会	30人	博物館	○
10月16日（日）	14:00～14:40	中部民児協	22人	博物館	○
10月23日（日）	12:50～13:40	日進市民俗芸能連合会	30人	博物館	○

10月27日(木)	10:00~11:00	小牧市立一色小学校	95人	博物館	
10月30日(日)	9:30~11:00	半田市企画課・半田市観光協会	20人	博物館	○
11月9日(水)	10:00~11:00	小牧市文化協会	30人	博物館	○
11月29日(火)	10:30~11:30	愛知県神社庁 尾東支部	23人	博物館	○
12月6日(火)	15:30~16:00	北脇町内会長・副会長OB会	12人	博物館	○
12月8日(木)	12:00~12:30	四日市商店連合会	35人	博物館	○
4月16日(土)	13:30~14:00	札幌中法人会女性部会	15人	旧中埜家住宅	○
4月27日(水)	10:00~10:45	クラブツーリズム株式会社	12人	旧中埜家住宅	○
6月16日(木)	13:45~15:15	半田市観光ガイド協会	40人	旧中埜家住宅	○
8月18日(木)	9:30~10:00	半田市観光協会	6人	旧中埜家住宅	○
10月19日(水)	13:20~14:20	クラブツーリズム株式会社	12人	旧中埜家住宅	○
12月3日(土)	13:00~13:30	愛知県生涯学習推進センター	40人	旧中埜家住宅	○
12月14日(水)	9:30~10:00	半田市観光協会	5人	旧中埜家住宅	○
1月8日(日)	11:00~12:00	京都華頂大学歴史建築研究会	17人	旧中埜家住宅	○

(3) 半田市内小学校3年生の見学学習

小学校3年生を対象として、半田市の様子を紹介した番組の上映、展示室見学と昔の生活道具の学習を行っている。令和4年度は下記のとおり実施した。

年月日	学校名	学年	クラス数	人数
10月19日(水)	亀崎小学校	3年生	3	83人
10月20日(木)	さくら小学校	3年生	2	49人
10月20日(木)	雁宿小学校	3年生	2	73人
10月21日(金)	乙川小学校	3年生	3	91人
10月25日(火)	半田小学校	3年生	2	57人
10月25日(火)	有脇小学校	3年生	1	23人
10月26日(水)	宮池小学校	3年生	3	99人
10月27日(木)	乙川東小学校	3年生	2	72人

10月28日（金）	成岩小学校	3年生	3	80人
11月1日（火）	板山小学校	3年生	2	65人
11月1日（火）	岩滑小学校	3年生	2	62人
11月2日（水）	花園小学校	3年生	3	107人
11月4日（金）	横川小学校	3年生	3	84人
合計	13校		31クラス	945人

6. 資料の収集・整理・保存

（1）刊行物の寄贈

令和4年度は全国の博物館施設・公官庁・大学・研究機関など、あわせて118の機関から258点の文献を寄贈いただきました。ここに記してお礼申し上げます。（順不同）

【北海道】北海道立北方民族博物館／**【岩手県】**花巻市博物館／**【茨城県】**上高津貝塚ふるさと歴史の広場／土浦市立博物館／**【埼玉県】**川越氷川祭の山車行事保存会／**【千葉県】**国立歴史民俗博物館／市立市川歴史博物館／野田市郷土博物館／野田市市史編纂／木更津市郷土博物館金のすず／**【東京都】**昭和館／世田谷区立郷土資料館／世田谷区政策経営部政策企画課区史編さん／東京都江戸東京博物館／たばこと塩の博物館／（公財）日本文化財保護協会／（独）日本芸術文化振興会
【神奈川県】馬の博物館／平塚市博物館／横須賀市自然・人文博物館／横浜市歴史博物館／川崎市民ミュージアム／**【富山県】**氷見市立博物館／射水市新湊博物館／**【福井県】**福井県陶芸館／福井県立こども歴史文化館／**【長野県】**飯田市美術博物館／諏訪市教育委員会／**【岐阜県】**各務原市歴史民俗資料館／岐阜市歴史博物館／瑞浪市陶磁資料館／美濃加茂市民ミュージアム／**【静岡県】**島田市博物館／沼津市歴史民俗資料館／浜松市博物館／浜松市地域遺産センター／磐田市教育委員会／駿府博物館／**【愛知県】**愛知学院大学／愛知県陶磁美術館／愛知県埋蔵文化財調査センター／熱田神宮宝物館／荒木集成館／安城市歴史博物館／大口町歴史民俗資料館／大府市歴史民俗資料館／岡崎市美術博物館／春日井市道風記念館／蟹江町歴史民俗資料館／清須市はるひ美術館／江南市歴史民俗資料館／新城市鳳来寺山自然科学博物館／瀬戸蔵ミュージアム／田原市博物館／中部大学民俗資料博物館／知立市歴史民俗資料館／とこなめ陶の森資料館／豊川市桜ヶ丘ミュージアム／豊田市郷土資料館／トヨタ博物館／豊橋市自然史博物館／豊橋市美術博物館／豊橋市二川宿本陣資料館／名古屋市博物館／名古屋市秀吉清正記念館／（一財）名古屋城振興協会／南山大学人類学博物館／西尾市岩瀬文庫／碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館／碧南市藤井達吉現代美術館／みよし市立歴史民俗資料館／愛知大学総合郷土研究所／高浜市／愛知県／西尾市教育委員会／稻沢市教育委員会／名古屋市教育委員会／東海市教育委員会／豊川市教育委員会／中京大学文学会／豊橋市文化財センター／豊田市教育委員会／清須市教育委員会／愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会／春日井市教育委員会／安城市埋蔵文化財センター／刈谷市／日本福祉大学

知多半島総合研究所／刈谷市歴史博物館／知多市史編さん委員会／愛知県立芸術大学文化財保存研究所／愛知大学豊橋教務課／あいち朝日遺跡ミュージアム／名古屋大学人文学研究科考古学研究室【三重県】亀山市歴史博物館／斎宮歴史博物館／藤原岳自然科学館／【滋賀県】高島歴史民俗資料館／滋賀県立大学／（公財）長浜曳山文化協会／楽浪文化財修理所／【京都府】京都市考古資料館／立命館大学国際平和ミュージアム／【大阪府】大阪歴史博物館／吹田市立博物館／【兵庫県】明石市立文化博物館／赤穂市立田淵記念館／西宮市立郷土資料館／【奈良県】奈良文化財研究所・飛鳥資料館／【山口県】山口県立山口博物館／【徳島県】徳島市立徳島城博物館／【香川県】香川県立ミュージアム／（公財）松平公益会／【愛媛県】宇和島市教育委員会／【高知県】高知県立美術館／【福岡県】九州産業大学美術館【熊本県】熊本市立熊本博物館

（2）資料寄贈

ア 美術品

受入日	種類	作品名	作 者	点 数
令和4年9月30日	絵画	画帖「墨華帖」	山本梅莊一門ほか	1点
	絵画	画帖「花月帖」	山本梅莊一門ほか	1点
	工芸品	盆	森高 画	1点
12月21日	掛軸	掛軸「花鳥之図」	山本梅逸	1点
	掛軸	掛軸「狂言 春日山図」	伊勢門水	1点
	書	掛軸（書）	吉田厚一	1点
	書	掛軸（書）	作者不詳	1点
令和5年1月6日	絵画	龍（雲龍）	榎原章人	1点

イ 一般資料

受入日	資料名	点 数
令和4年5月22日	カブトビールの木箱	1点
7月28日	提灯(乙川 西山)	25点
8月3日	昆虫標本	10箱
10月8日	會員名簿（知多郡教員總会）ほか	47点
11月13日	古銭	一式
12月13日	スケッチブック	1点

	人形制作の参考資料	一式
	桐塑人形の台座	2点
	能面制作の道具	一式
	碗	2点
12月14日	尾張古地図集	1点
	通い徳利	2点
	醤油徳利	1点
令和5年1月19日	書籍、日記、褒章、血統書、乳牛良否鑑定書ほか	35点
1月20日	新美茂登司関係資料ほか	99点
1月31日	欄間	1点
2月22日	古文書	一式
2月28日	銭箱	1点
	庭訓往来	1点
	古文書	一式
3月12日	家族写真	1点
	野球チームの集合写真	1点
	新撰字類	1点

(3) 収蔵資料点数（令和5年3月31日時点）

区分	数量	区分	数量
生活	6,793点	自然	175点
産業	4,935点	古文書	4,790点
民俗	1,412点	美術品	1,535点
考古	207点	歴史	1,598点
合計			21,445点

7. 半田市立博物館友の会活動

半田市郷土資料館友の会（昭和 53 年設立）を前身として、昭和 59 年に設立された。半田市立博物館の活動に協力し、あわせて郷土の文化遺産を守り歴史・民俗・自然に関する知識を深め、会員相互の親睦をはかることを目的としている。その後、任意団体として独立しつつも、博物館事業への積極的な協力を目的の一つに掲げ、現在は、古文書、拓本、陶芸、はたおり、歴史、染色の 6 部会が活動している。

令和 4 年度実績（令和 4 年 8 月 1 日時点）

部会名	会員数	部会名	会員数	部会名	会員数
古文書部会	15 人	陶芸部会	5 人	歴史部会	30 人
拓本部会	9 人	はたおり部会	25 人	染色部会	23 人

8. 文化財保護事業

（1）文化財専門委員会

①設置目的

市内における文化財の調査及び保護活用に関して研究し、教育委員会の諮問に応じて意見を具申し、又は建議する。

②委員の構成（10 名）

学識経験者の中から教育委員会が委嘱する。委員の任期は 3 年。毎年、委員長 1 名、副委員長 1 名を選出し、委員長は委員会を代表し会議の議長となる。

（2）文化財の保護

①指定文化財の数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

種類		国指定	県指定	市指定	計
有形文化財	建造物	2	0	6	8
	美術工芸品	3	0	3	6
		1	0	10	11
		3	0	4	7
	書跡・典籍・古文書	2	0	9	11
民俗文化財	有形	1	1	6	8
	無形	1	2	6	9
記念物	史跡	0	1	2	3
	天然記念物	0	1	3	4
計		13	5	49	67

②指定文化財一覧

	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者又は管理者
国指定	建造物	旧中埜家住宅	1棟	昭和 51.2.3	天王町 1-30-2	半田市
	彫刻	木造阿弥陀如来立像	1躯	昭和 6.12.14	東郷町 2-41	常楽寺
	有形民俗	半田の酢醸造用具	323点	平成 28.3.2	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	無形民俗	亀崎潮干祭の山車行事	—	平成 18.3.15	亀崎町 2-92-1	亀崎潮干祭保存会
	建造物	小栗家住宅	12棟	令和 4.9.20	中村町 1-18	個人
県指定	有形民俗	亀崎潮干祭の山車	5輛	昭和 41.1.17	亀崎町 2-92-1	亀崎潮干祭保存会
	無形民俗	大獅子小獅子の舞	—	昭和 42.10.30	成岩本町 4-5	成岩第四区獅子保存会
	無形民俗	板山獅子舞	—	平成 9.10.17	神代町 1-61	板山獅子保存会
	史跡	大高山古窯	297㎡	昭和 33.6.21	上池町 2-31	半田市
	天然記念物	摂取院のイブキ	1樹	昭和 56.2.23	前崎東町 44	摂取院
市指定	建造物	乙川八幡社本殿	1棟	昭和 58.4.1	乙川殿町 97	八幡社
	建造物	秋葉社本殿	1棟	昭和 58.4.1	亀崎町 4-80	秋葉社
	建造物	旧新美家住宅(新美南吉養家)	1軒	昭和 62.10.30	平和町 7-60	公益財団法人かみや美術館
	建造物	雲観寺鐘楼	1棟	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	建造物	一切経蔵、八角輪蔵	1棟	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	建造物	半田ハリストス正教会「聖イオアン・ダマスキン聖堂」	1棟	令和元.6.21	乙川西ノ宮町 3-33	半田ハリストス正教会
	絵画	血誓の阿弥陀如来絵像	2幅	昭和 41.3.31	亀崎町 3-51	浄願寺
	絵画	絹本着色方便法身尊像	1幅	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	絵画	半田ハリストス正教会の聖障(イコノスタス)	27枚	令和元.6.21	乙川西ノ宮町 3-33	半田ハリストス正教会
	彫刻	薬師如来座像	1躯	昭和 41.3.31	東郷町 2-86	西薬師教会
	彫刻	十一面觀世音菩薩立像	1躯	昭和 41.3.31	有楽町 2-34	鳳出觀音教会
	彫刻	多聞天立像	1躯	昭和 48.4.12	有楽町 2-34	鳳出觀音教会
	彫刻	地藏菩薩立像	1躯	昭和 48.4.12	有楽町 2-34	鳳出觀音教会
	彫刻	聖觀世音菩薩立像	1躯	昭和 48.4.12	東郷町 2-86	西薬師教会
	彫刻	大日如来座像	1躯	昭和 48.4.12	東郷町 2-86	西薬師教会
	彫刻	聖觀世音菩薩立像	1躯	昭和 58.7.1	東本町 2-16	光照院
	彫刻	阿弥陀如来立像	1躯	昭和 60.8.1	堀崎町 1-58	順正寺
	彫刻	木造薬師如来座像	1躯	昭和 61.2.1	成岩本町 2-5	北薬師教会
	彫刻	木造聖徳太子立像(南無仏二歳像)	1躯	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺

市指定	工芸	陶製水瓶	1 個	昭和 41.3.31	-	個人
	工芸	三筋壺	2 個	昭和 44.5.22	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	工芸	巴文大甕	1 個	昭和 54.4.1	-	個人
	工芸	懸盤	1 脚	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲觀寺
	古文書	乙川文書	935 点	昭和 53.4.1	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	古文書	西成岩文書	516 点	昭和 53.4.1	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	古文書	乙川八幡社祭礼絵図	1 卷	昭和 58.4.1	乙川殿町 97	八幡社
	古文書	絵像阿弥陀如来(大品)裏書	1 卷	昭和 60.8.1	堀崎町 1-58	順正寺
	典籍	乙川八幡社社地絵図面	1 卷	昭和 58.4.1	乙川殿町 97	八幡社
	典籍	黄檗鉄眼版一切経	276 枚 2104 冊	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲觀寺
	書跡	六字名号	1 幅	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲觀寺
	書跡	九字名号	1 幅	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲觀寺
	書跡	御文	1 卷	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲觀寺
	有形民俗	向山神楽獅子の館	1 台	昭和 45.11.10	向山町 2-30	向山神楽獅子保存会
	有形民俗	半田山車まつり 市内 9 地区の山車	26 輛	昭和 54.5.4	市内 26ヶ所山車藏	半田山車祭り保存会
	有形民俗	乙川八幡社絵馬群	9 面	昭和 58.4.1	乙川殿町 97	八幡社
	有形民俗	中村組神輿	1 基	平成 15.4.1	東本町 2-23	業葉神社
	有形民俗	平地神明社の算額	1 面	平成 28.7.8	平地町 1-72	平地神明社奉賛会
	有形民俗	業葉神社の古面	1 面	平成 30.3.16	桐ヶ丘 4-209-1	業葉神社
	無形民俗	向山神楽獅子の神事	—	昭和 44.3.14	向山町 2-30	向山神楽獅子保存会
	無形民俗	ちんとろ祭の三番叟	—	昭和 54.7.28	宮路町 53	住吉ちんとろ祭委員会
	無形民俗	銭太鼓踊り	—	平成 13.6.1	成岩本町 4-5	成岩銭太鼓保存会
	無形民俗	板山万歳	—	平成 21.5.1	板山町 15-168	愛知・半田・板山万歳保存会
	無形民俗	下半田祭礼行事	—	平成 31 年 3.8	東本町 2-23	下半田祭礼保存会
	無形民俗	乙川祭礼行事	—	平成 31 年 3.8	乙川殿町 97	乙川祭礼保存会
	史跡	亀崎渡船場跡	—	昭和 54.4.1	亀崎町 2-234-1	神前神社
	史跡	大池古窯	3 基	平成 8.8.1	鵜ノ池町 33-1	半田市
	天然記念物	津島社のムクノキ	1 樹	昭和 52.10.1	住吉町 8-50	津島社天王講
	天然記念物	常福院のソテツ	1 株	昭和 53.4.1	岩滑中町 7-23	常福院
	天然記念物	萬三の白モッコウバラ	1 樹	平成 23.12.1	中村町 1-18	個人

※所有者に同意を得た文化財のみ記載しています。

③国登録有形文化財

種別	名称	員数	登録年月日	所在地	所有者または管理者
建造物	半田赤レンガ建物（旧カブトビル工場）	3棟	平成 16.7.23	榎下町 8	半田市
建造物	愛知県立半田商業高等学校正門門柱 (旧愛知県知多郡立高等女学校正門)	1基	平成 29.6.28	白山町 2-30	愛知県
建造物	旧愛知県半田中学校武道場 (七中記念館)	1棟	令和 4.6.29	出口町 1-30	愛知県
建造物	旧伊東合資会社	3棟	令和 4.10.31	亀崎町 9-111 他	法人

（3）保存修理・保存施設整備補助事業

令和4年度は、次のとおり文化財所有者が行う保存修理等を支援し、文化財の保存継承を行った。

名称	種別	補助事業者	内 容
半田山車祭りの山車（26輌）	有形民俗	協和西組協和車	文化財保存事業（胴柱・壇箱・山部彫刻修理、吹流復元新調、飾房修理・復元新調）
		西成岩西組敬神車	文化財保存施設整備事業（山車蔵兼鞘修理）
津島社ムクノキ	天然記念物	津島社天王講	津島社ムクノキ文化財保存事業（天然記念物保護増殖）

なお、令和4年度は、国の令和3年度補正予算事業である「地域文化財総合活用推進事業（地域の伝統行事等のための伝承事業）」を活用できたため、次の文化財についても保存修理を行うことができた。

名称	種別	所有者・管理者	内 容
半田山車まつり 市内9地区の山車 26 輛	有形民俗	下半田南組（護王車）※	堂山柱復元新調、鎧金具修理
		（一社）協和西組保存会 (協和車) ※	台輪復元新調
向山神楽獅子の館	有形民俗	向山区神楽獅子保存会※	獅子館修理
亀崎潮干祭の山車行事	重要無形民俗 (国)	亀崎潮干祭保存会	敬神社委員裁着袴復元新調 (5組)、水引幕・追幕・吹貫（吹流）修理（田中組神楽車）

※ 3団体で半田市文化遺産活用山車等民俗文化財保存修理実行委員会を組織し実施。

亀崎潮干祭保存会は、国指定として単独で実施。

(4) 旧中埜家住宅保存管理事業・保存活用事業

令和4年度の主な公開等活用事業は次のとおり。

イベント名・内容等	日程等	場所等
旧中埜家住宅で春の写真を撮ろう	令和4年3月24日(木) ～5月5日(木・祝)	旧中埜家住宅、 博物館
「子ども用リーフレット」配布	令和4年4月～	旧中埜家住宅、博物 館、市ホームページ
旧中埜家住宅で組紐を体験しよう	令和4年5月13日(金)、 14日(土)	旧中埜家住宅
初夏の旧中埜家住宅一般公開 －半六さんの別荘で音楽を楽しもう－	令和4年5月21日(土)、 22日(日)、30日(月)	旧中埜家住宅
ブライチ in 半田（愛知県河川課主催）	令和4年6月19日(日)	旧中埜家住宅他 市内各所
旧中埜家住宅ポストカードプレゼント	令和4年7月7日(木) ～31日(日)	博物館
旧中埜家住宅＆半田市立博物館 海からのメッセージ	令和4年8月5日(金) ～9月4日(日)	旧中埜家住宅、 博物館
折り紙建築ワークショップ 旧中埜家住宅の飛び出すカードをつくろう！	令和4年11月6日(日)	旧中埜家住宅
半田市制85周年記念 第6回 重要文化財旧中埜家住宅特別公開 －インタビュー！文化財建造物をまもる人たち－	令和4年11月19日(土)、 20日(日)	旧中埜家住宅
名鉄ハイキング 蔵のまち・半田の発展を支えた 文化財をめぐるコース（名古屋鉄道㈱主催） ／半田市内の文化財を巡り知る日（半田市 観光協会主催）	令和4年11月26日(土)、 27日(日)	旧中埜家住宅他 市内各所
「折り紙建築の型紙・作り方」配布	令和4年11月～順次	旧中埜家住宅、博物 館、市ホームページ
生涯学習あいち県民講座「あいち歴史まちめぐ り」（愛知県生涯学習推進センター主催）	令和4年12月3日(土)	旧中埜家住宅、 小栗家住宅、 半田赤レンガ建物
旧中埜家住宅・桐華学園 刺し子のランチョンマットづくり	令和5年3月11日(土)	旧中埜家住宅
新美南吉の童話作品イラストによる外観装飾	令和5年3月23日(木) ～5月7日(日)	旧中埜家住宅

9. 入館者数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	日 数	人 数	日 数	人 数	日 数	人 数
4月	0日	0人	26日	5,449人	26日	5,479人
5月	0日	0人	26日	6,717人	26日	5,201人
6月	25日	4,597人	26日	6,101人	26日	5,558人
7月	27日	5,347人	26日	7,710人	27日	10,558人
8月	26日	4,814人	25日	7,180人	26日	10,737人
9月	26日	4,585人	26日	5,178人	26日	6,799人
10月	27日	5,630人	26日	7,453人	26日	6,381人
11月	25日	4,603人	25日	5,445人	26日	6,694人
12月	24日	3,456人	24日	5,349人	24日	5,572人
1月	24日	6,188人	24日	9,960人	24日	10,151人
2月	24日	8,395人	24日	8,054人	24日	9,014人
3月	26日	5,737人	26日	5,806人	27日	5,822人
合 計	254日	53,352人	304日	80,402人	日	87,966人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月4日～5月31日まで臨時休館

今般御下米先達而村々江高割

被仰付当村分残高千式百八拾石

徳造与八両艘二而御用相勤可

申候則

五百石

徳造船

七百八拾石

与八船

右之通割合二而御用為相勤可

申上候宜御聞濟被下置候様奉願上候

尤頃白与八壱艘乗廻御用可

相勤可申答奉願上候處与八

壱艘二而八中々難積請候付両艘

相廻申候右願之通御聞濟被下置候八

難有可奉存候
以上

酉十二月

亀崎村庄屋

間瀬佐次平

御船手

御奉行所

龜崎村

庄屋

間瀬佐次平

鳴海

御陣屋御手附御同心様

懸済仕候右物全
御威光故と重々難有仕合奉存候仍之

此段御達奉申上候 己上

酉十二月

※以下略（米取引の承諾願い）
米六俵

龜崎村
間瀬佐次平

鳴海

御陣屋

右間瀬佐次平御達奉申上候付奥印

仕候 己上

右八当湊居合之船御吟味与して
御出相成申候船貢錢如斯奉受取候
已上

乍恐御達奉申上候御事

当村新七牢扶持之儀二付清三郎初又作兵衛

五郎介三人之者共互二身複ヶ間敷儀杯申

納得不仕候付先般御達奉申上右之者共江御裁許被

下出様乍恐御願奉申上候処

役前江諭方被仰付奉畏早速右三人

之者共江御利解之趣申聞相諭申候処納得仕是全

御威光故と難有可奉存候仍之此段御達奉申上候

已上

酉十二月

龜崎村
庄屋代

組頭

次右

乍恐御達奉申上候御事
去申冬三州西尾米切手一条二付同国

米三拾四石

乍恐奉願上候御事

大浜村水野出羽守様御役場江
御添附奉願上候處此節於内輪

乍恐奉願上候御事

御船手

御役人様

間瀬佐次平印

庄屋

龜崎村

御船手

覚

一百文 小船壹艘

右八当湊居合之船御吟味与して

御出相成申候船貢錢如斯奉受取候

已上

酉十二月

龜崎村

御船手

間瀬佐次平印

庄屋

乍恐奉願上候御事
※以下略（米取引の承諾願い）

米百三拾五石

酉十二月

乍恐御達奉申上候御事

柳原 衛門

酉十二月

龜崎村

御船手

間瀬佐次平印

庄屋

間瀬佐次平印

御船手

間

代式百五十文二賣払之旨盜賊申願候

付早速相訂可申上旨御状之趣承知

一付村々高割被仰付承知奉畏候
然處与八儀此節柱修覆仕

奉畏候同人儀頃日上京仕留主

居候付早行御尋会揃申候一付八次郎
音三郎両艘急々深田沖迄為乘廻

中二付相分兼申候處昨日帰宅仕

御用為相勤可申候仍之御請書奉
差上候 以上

相尋申候處右春麥式升五合二而

代式百五十文二賣取申候旨申出候

尤盜賊之物とハ不存相節隣村ら

三五升ツゝ持參貢吳候様申參候付

右様二心得買取不調法仕候段

奉恐入候仍之御達奉

申上候 己上

酉十二月

右村庄屋

間瀬佐次平

御船手御役所

酉十二月

乍恐御達申上候御事

当村秋葉宮下棒木屋与三郎と申所江

居申六月頃春麥式升五六合代式百五十文二

壳拂候旨盜賊申顯候付早速相訂可

申上旨御状之趣承知奉畏候同人儀

頃日上京仕留主中二付相分兼申候處

昨日帰宅仕相尋申候處右八春麥式升

五六合二而代式百五十文二賣取申候旨申出候

尤盜賊之物とハ不存相節隣村ら三五

升ツゝ持參貢吳候様申參り候付右様二

心得買取不調法仕候段奉恐入候仍之
御達奉申上候 以上

酉十二月

乍恐奉願上候御事

※以下略 (米取引の承諾願い)

豆式拾石

乍恐御達申上候御事

当村秋葉宮下持小屋与三郎と
申所江去申六月頃春麥式升五六合

右八今般江戸表御下シ米積出御急干

メ

乍恐御請書之事

※以下略 (米取引の承諾願い)

亀崎村

中出来五丸 次郎船

喜互丸 音三郎船

栄宮丸 与八船

※以下略 (米取引の承諾願い)

米百石

鳴海

御陣屋 御手附御同心様へ

乍恐奉願上候御事

※以下略 (米取引の承諾願い)

豆式拾石

乍恐御請書之事

当村秋葉宮下持小屋与三郎と
申所江去申六月頃春麥式升五六合

御陣屋

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

米八拾五石

乍恐御歎願奉申上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

米五拾石

頃日被仰付候伊之助牢扶持之儀早速可差出
筈之處同人父熊次郎先年受拵被仰付候

節る家小家も無御座候者故親類新左衛門懸人与
相成居候処右新左衛門去秋相果後家壱人者二而

同人儀及八拾歳ニ茂老衰仕候ニ付今日ヲ
暮兼候者ニ付親類中割合仕候得共何分

當年柄中々不行届先々今日金三両并二綿入

壹ツ取持差出申候間何卒残金之義者乍恐
暫之間猶予被下置候様仕度奉願上候右

願之通早速御聞済被下置候ハゝ難有可奉存
之通早速御聞済被下置候ハゝ難有可奉存 已上

酉十一月

乍恐御願旁御達奉申上候御事

献金之儀昨廿二廿三両日之内御上納

可仕候様頃日御觸書之趣奉畏候然處

當年柄小方取立方六ヶ敷何卒今

暫乍恐御日延被下置候様奉願上候右願
之通早速御聞済被下置候ハゝ難有可奉存

存候 已上

鳴海

御陣屋

亀崎村
庄屋

与右衛門

右八渡辺半蔵様御内御勘定場

右三人之者共御呼出ニ付今日召連寵出候間

此段御達奉申上候 以上

酉十一月廿七日

亀崎村
庄屋

与右衛門

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

米八拾石

与頭

次右衛門

鳴海

※以下略・米取引の承諾願い

乍恐御請書之事

一人足五人

右八中山道中津川宿行御人用

増人足如斯被仰付承知奉

畏候明廿五日朝出立ニ而差出可申旨

仍之御請書奉差上候 以上

酉十月廿四日

龜崎村

庄屋

与右衛門

鳴海 同廿一
る晦日迄

一同 五斗四升

右之通御座候依之御達申上候以上

酉十一月

乍恐奉願上候御事

※以下略 (米取引の承諾願い)

乍恐奉願上候御事

※以下略 (米取引の承諾願い)

乍恐奉願上候御事

米十五石

乍恐奉願上候御事

※以下略 (米取引の承諾願い)

米三拾石

当酉年新米相場去月朝迄
晦日迄之相場取調御達可申上旨

御觸書之趣承知奉畏候則左二
十月朔日迄十月九日迄

一新米金壱両二付升数五斗八升

十月十日迄廿日迄

一同 五斗六升

同廿一
る晦日迄

一同 五斗四升

右之通御座候依之御達申上候以上

酉十一月

龜崎村

庄屋

間瀬佐次平

※以下略 (米取引の承諾願い)

乍恐奉願上候御事

鳴海 御陣屋

御陣屋

乍恐奉願上候御事

※以下略 (米取引の承諾願い)

乍恐奉願上候御事

米百三拾石

知多郡船持惣代

西端村 日比弥兵衛

半田村 久三郎

龜崎村 芳兵衛

北脇村 瀧田金左衛門

去月廿七日私共御呼出之上

公邊御城米積船不足二付御領分船三拾艘程御借

入之趣笠松御陣屋より御頼人二相成候付積請方

御談被仰付奉畏候付而者右御米之儀者格別

御大切品二而不積馴船々共甚心痛仕候付右御用

之儀者御免被成下置候此段再応奉願上候処御取纏

不被為遊猶又御嚴重二御談被仰付候御儀二付

段々申相候得共迎右積請方御請難申上甚以

奉恐入候御願二者御座候得共全体右御米之儀者

外御米与八違ひ請渡共六ヶ敷江戸表着船二相成

候共先前より之入船模様二而容易二八荷扱二茂

不相成嚴敷日數費贈り御米水揚之節とても

一汐瀬取儀二御座候付乗組水主斗二而八不間合無

拠不馴染者雇入為瀬取候儀重々心配夫而已なら須諸

懸り多分相懸り其上過分升欠杯相立候私二者

弁金上納方差詰り無是非壳船取斗上納

仕候分も是迄多分在之慎見聞仕右様之次第二
相成候而者御蔭を以相続仕來候渡世方終二者

親眷屬之養二失身立所も無御座場合二も至候半与

実ニ難渋致申上候段歎願奉申上候共奉万

御威光を以嚴敷積方被仰付候共迎右私共

積請候儀者乍恐不行届候間外船雇入為積請

候得共中々御定御運貨二而者絶而積船無御座候間

別段百石目二付カリ共金五兩位八増金為遣候半而

八
去月晦日より九月九日迄

一新米金壺両二付 升数五斗三升

九月十日より廿日迄

同

新穀差向御米御積下時節二相成御差支二

可相成程右難斗候間何卒深ク御賢察被成下置

御憐憫を以右御用御赦（力）免被下置候様船持一

段々申相候得共迎右積請方御請難申上甚以

奉恐入候御願二者御座候得共全体右御米之儀者

外御米与八違ひ請渡共六ヶ敷江戸表着船二相成

候共先前より之入船模様二而容易二八荷扱二茂

不相成嚴敷日數費贈り御米水揚之節とても

一汐瀬取儀二御座候付乗組水主斗二而八不間合無

拠不馴染者雇入為瀬取候儀重々心配夫而已なら須諸

懸り多分相懸り其上過分升欠杯相立候私二者

弁金上納方差詰り無是非壳船取斗上納

仕候分も是迄多分在之慎見聞仕右様之次第二
相成候而者御蔭を以相続仕來候渡世方終二者

親眷屬之養二失身立所も無御座場合二も至候半与

乍恐御達申上候御事

当酉年新米相場相立候月並より

去月晦日迄之相場取調御達可

申上旨御触出之趣承知奉畏候則

左二

八月晦日より九月九日迄

一新米金壺両二付

升数五斗三升

九月十日より廿日迄

同

五斗六升

九月廿一日より晦日迄

新米金壺両二付

升数五斗八升

九月十一日より晦日迄

右之通御座候仍之御達申上候以上

酉十月

鳴海

御陣屋

龜崎村

庄屋 与右衛門

中村権右衛門印

※以下略（米取引の承諾依頼）

乍恐奉願上候御事

一人足四拾四人

御陣屋

知多郡船持惣代

内海 曰比彌兵衛

半田村 久三郎

龜崎村 芳兵衛
北脇村 瀧田金右衛門

去申九月る当酉八月迄之内乗捨船難破船
或者死人捨リ荷物ぐら杯之船之有無共御達可申上候而

御觸書之趣奉畏候依之此二御達申上候

一瀬取船壹艘

龜崎村 留三郎

右八去申十月村前二而破船仕候尤積荷物ぐら杯

無御座船頭水主共助命仕候

一諸國廻船三百六拾石入

龜崎村三代吉

七人前

右八当五月遠州御前崎二而破船仕候尤空船
尔て捨荷物杯無御座船頭水主共助命仕候

右之外難破船或者死人捨リ荷物杯之船々
無御座候依之御達申上候以上

酉九月

右村庄屋

竹内甚八印

御船手

御役所

乍恐御請旁奉願上候御事

甚心痛至リ殊ニ外御米与ハ違ひ

請渡共六ヶ敷江戸表着船二相成候共先前る之

入船模様二而容易二者荷役二も不相成甚敷

日數費贈り御米水揚之節とても一汐

瀬取儀ニ御座候付乗組水主ニ而者不間合

無拠不馴染者雇入為瀬取候儀重々

心配夫而已なら須諸懸り多分相懸り

其上過分升欠杯相立候船二八弁金上納

方差詰リ無是非壳船取付上納仕候分も

是迄多分在之慎て見聞仕右様之次第二
相成候而者御蔭を以相続仕來候渡世

勞終八親眷屬養ニ者身立所モ無御座
場合ニモ到候半と実ニ難済難申上候段

歎願奉申上候達而御威光を以嚴敷

乍恐御請旁奉願上候御事

積方被仰付候得共逆モ私共積請候儀者

乍恐不行届候間私船雇入為積請候

得共中々御定御運貨ニ而者絶而積船無

御座候間別段百石目ニ付私共金五両

位八増金為遣候半而者承知不仕右様

不相成節八忽船々可及漬段現在

被存候第一右之趣被為行候ニ付而者

近來御國御用公邊御用代初

地主代共多分在之其上最早新穀差向

御米御積下時節ニ相成御差支ニテ相成程モ

難斗候間何卒深ク

御賢察被成下置御慈悲を以右

御用御看免被下置候様私一同只管

御歎願奉申上候右御聞済被下置

候ハゝ難有仕合可奉存候以上

酉八月

御船御奉行所

附本文奉申上候御城米積請候筈ニ

相成候節八往々御領分船之脇前之衰微

奉存候乍去御用御済願之通御聞済被下置

候ハゝ御上様る御積下御用物八御國忍之儀

御違背不平申上候間吳々モ御免被下置候様云々

此段御達奉申上候以上

乍恐御詫奉申上候御事

酉八月

鳴海

亀崎村庄屋代

亀崎村

竹内甚八

年寄

代藏

与左衛門姉 多ひ

伊東孫左衛門

同断

鳴海

御陣屋

柳原

御役所

伊東孫左衛門

竹内甚八

乍恐奉願上候御事

一米五拾五石

右者同郡緒川村専左衛門より買請

船積二而引取申度奉願上候尤専左衛門より

御願申上候筈二御座候間右願之通早

速御聞済被下置候ハゝ難有奉存候 以上

酉九月

乍恐奉願上候御事

一米五拾五石

右者同郡緒川村専左衛門より買請

船積二而引取申度奉願上候尤専左衛門より

御願申上候筈二御座候間右願之通早速御聞済

被下置候ハゝ難有奉存候 以上

酉九月

乍恐奉願上候御事

一米七拾石

右者同郡緒川村専左衛門より買請

船積二而引取申度奉願上候尤専左衛門より

御願申上候筈二御座候間右願之通早速御聞済

被下置候ハゝ難有奉存候 已上

酉十月

乍恐奉願上候御事

一米五拾五石

右者同郡緒川村専左衛門より買請

船積二而引取申度奉願上候尤専左衛門より

御願申上候筈二御座候間右願之通早速御聞済

被下置候ハゝ難有奉存候 以上

酉九月

乍恐奉願上候御事

一米七拾石

右者同郡緒川村専左衛門より買請

船積二而引取申度奉願上候尤専左衛門より

御願申上候筈二御座候間右願之通早速御聞済

被下置候ハゝ難有奉存候 已上

酉十月

乍恐奉願上候御事

一米五拾五石

右者同郡緒川村専左衛門より買請

船積二而引取申度奉願上候尤専左衛門より

御願申上候筈二御座候間右願之通早速御聞済

被下置候ハゝ難有奉存候 以上

酉十月

乍恐奉願上候御事

一米五拾五石

右者同郡緒川村専左衛門より買請

船積二而引取申度奉願上候尤専左衛門より

御願申上候筈二御座候間右願之通早速御聞済

被下置候ハゝ難有奉存候 以上

酉十月

乍恐奉願上候御事

一米五拾五石

右者同郡緒川村専左衛門より買請

船積二而引取申度奉願上候尤専左衛門より

御願申上候筈二御座候間右願之通早速御聞済

被下置候ハゝ難有奉存候 以上

酉十月

庄屋代

喜藏

濟被仰聞難有奉存候仍之村役人

上京為致今般御用之趣淨顯寺申遣

御中屋敷

寺社御奉行所

乍恐奉願上候御事

龜崎村

才三郎

清次郎

清二郎

卷之三

右八今般半田村二而御拂一相成候
古来人凡二鹿出侯聞宜奉願土侯已上

古米刀朴一齋出候間宜奉原上候口一
西四月

西四月
右村庄屋

与右衛門

鳴海

御陣屋

ノ怒徳道田 一仲徳事

金言

出入一件追乞御曰延奉願上候付奉

右懸り

之者京都を呼取候次第を以て去月廿一

私共は当月三日迄御日延奉願上候處御聞

山々谷間并荒地抔田畠起不行届

乍恐御達申上候御事

松木抔不生立場所ニ植付候ハ、村益可相成右躰之場所吟味仕御達申上候以上	酉五月	龜崎村
村内穿鑿仕候處右躰之場所	鳴海	与右衛門
当村二八無御座候仍之此段御達奉申上候以上	御陣屋	庄屋
被下置冥加至極難有早速困窮之者共取調壹人一付三百文宛之割符仕御仁惠之程為申聞前紙之通頂戴為仕申候仍之此段御達奉申上候已上	今般格別之	式厘
酉五月	龜崎村	与頭 万助 次右衛門

✓

御陣屋

右間瀬兵八御達申上候付奥印仕候以上

右村庄屋

右之通二御座候仍之御達申上候以上
知多郡龜崎村

庄屋

間瀬佐次平

文久元酉四月

御勘定所

田村幸右衛門様

加藤運平様

外二

壱通鳴海方同心衆様江御達申候

乍恐奉願上候御事

同郡木村儀右衛門当酉拾弐歳罷成
候處私儀男子無御座候ニ付今般懸り
人ニい多し度奉御願候尤重縁之者ニ付
双方親類村中納得之上何方ニ少ち
故障無御座候間右願之通御聞済
被成下置候ハゝ重々難有仕合ニ奉存候以上

酉三月

伊東孫七郎

柳原

御役所

龜崎村年寄

乍恐御達申上候御事

当三月京都本願寺租師聖人御年忌ニ付私家内
召連来十二日出立ニ而上京仕度候尤私留主中
役義江付御用之儀御座候ハゝ同役成田久次郎江
相頼置候間同人江被仰付可被下候仍之此段
御達申上候以上

乍恐御達申上候御事

同郡木村儀右衛門當酉拾弐歳罷成
候處私儀男子無御座候ニ付今般懸り
人ニい多し度奉御願候尤重縁之者ニ付
双方親類村中納得之上何方ニ少ち
故障無御座候間右願之通御聞済
被成下置候ハゝ重々難有仕合ニ奉存候以上

酉三月

伊東孫七郎

柳原

御役所

龜崎村年寄

乍恐御請書之事

知多郡乙川村榊原伊勢守る同村与佐右衛門江
相懸り候金談一条ニ付今日右与三右衛門
御呼出之上御理解被仰渡當人ニ於いても

奉恐入候付而八金筋之儀也承伏仕候間一度
帰村之上内熟仕度旨達而相願候ニ付何卒
來ル十日迄御日延被成下置候様仕度此段

奉願上候尤右日限ニ右之境召連罷出
奉申上候間右願之通

御聞済被成下置候ハゝ難有仕合奉存候已上
酉三月

龜崎村

乍恐御達申上候御事

当三月租師聖人御年忌ニ付來ル
十二日出立ニ而上京仕度候依之此段御達
奉申上候以上

龜崎村

間瀬兵八

間瀬佐次平

間瀬兵左衛門

吉田太七

伊東孫十郎

御陣屋

鳴海

右村庄屋

与右衛門 印

龜崎村

鳴海

御達奉申上候以上

龜崎村
庄屋

一白米壹石八斗九升

隔日粥九拾人江振舞候分

一同壹石五斗

隔日粥七十五人江振舞候分

酉二月

一壹石八升

他所非人江もちかゆ遣候分

申九月

一金八両壹分

申十二月十日

一白米七石四斗

村方五町内江施シ候分

酉二月

一壹石五斗

隔日粥九拾人江振舞候分

申九月

壹匁五分九リ 白米百文二付壹升壳へ尻抱

酉二月三日より三月廿四日迄

一白米七石四斗

村方五町内江施シ候分

申九月

一白米壹石貳斗 粥二而遣ス

酉二月三日より三月廿三日迄

一白米七石四斗

村方五町内江施シ候分

同廿六日

一同五石四斗五升 小浜大浜 人別江遣ス

酉二月三日より三月廿四日迄

一白米七石四斗

村方五町内江施シ候分

同十一月大晦日

一同八斗 別段施シ候分

一白米七石四斗

村方五町内江施シ候分

酉二月三日より三月廿三日迄

一同壹石 隔日四十八人江かゆ振舞候分

一白米七石四斗

村方五町内江施シ候分

酉二月三日より三月廿四日迄

一同壹石 隔日四十八人江かゆ振舞候分

一白米七石四斗

村方五町内江施シ候分

酉二月三日より三月廿三日迄

一同壹石 隔日四十八人江かゆ振舞候分

一白米七石四斗

村方五町内江施シ候分

同

一餅白米九斗五合
右同断

酉二月三日より三月廿三日迄

迄

吉田太七

間瀬兵八

鳴海

御陣屋

右間瀬兵左衛門御達申上候付奥印仕候以上

右村庄屋

与右衛門

仕候付金子才覚方早行出来兼仍之
当月晦日迄日延之儀相頼申候處此節
一時出金不仕而八承知也無之趣申聞候付親類一
同甚迷惑仕候付而八恐多御頼二八御座候得共
何卒右日限迄延日い多し吳候様被為懸声
被下置候様仕度乍恐奉願上候右願之通早速
御聞済被下置候ハゝ重々難有仕合可奉存候以上

酉三月

亀崎村
与三右衛門

寺社方

御役所

右与三右衛門奉願上候通相違無之候付奥印仕候以

上

右村庄屋

間瀬佐次平印

※一文略（前に出た文と同じ）

酉四月

亀崎村
御船手
御役所

右長次郎奉願上候通相違無御座付願之通御聞済
被成下置候様於私モ奉願上候以上

長次郎

右村庄屋

竹内甚八

乍恐奉願上候御事

先般乙川村榎原伊勢守る御訟訴奉申上候
金談一条之儀当月十日迄内熟可仕旨御達
申上置帰村仕早速伊勢守江段々相頼則
然處御切紙并御證文之儀去冬村方地先二而
金三両壹分式朱錢百拾八文出金可仕筈二而内
熟仕候然ル處私儀當時内輪必至困窮

乍恐御達旁奉願上候御事

一諸国廻船四百八拾石入壹艘 亀崎村 長次郎
右者今般解船仕候二付焼印御札返納仕候
然處御切紙并御證文之儀去冬村方地先二而
難事逢候節箱江入置候儘流失為致
手を盡し相尋候得共更二相分リ不申
御願申上候第二御座候間右願之通御聞済

乍恐奉願上候御事

一大豆五拾五俵 但シ五斗入
右八名古屋船入町加藤屋藤助る買請
船積二而今日着船仕候間何卒早速
御見分被下置候様奉願上尤藤助る右
御願申上候第二御座候間右願之通御聞済

候段迷惑至極奉恐入候次第二御座候

得共右無調法之段御免被成下置何卒

御帳面御除被成下置候様奉願上候右

願之通御聞済被成下置候ハゝ重々難有

仕合可奉存候以上

當三月租師聖人御年忌二付家内
召連来ル十二日出立上京仕度候依之
此段御達奉申上候以上

酉三月

亀崎村

乍恐御達奉申上候御事

鳴海
御陣屋

乍恐奉願上候御事

吉田太七
間瀬兵八

乍恐奉願上候御事

間瀬佐次平

成田久次郎

弥五郎ノきと 甚六
忠三郎 後家 千之助

与頭

次右衛門

酉四月
柳原

鳴海
御陣屋

鳴海
御陣屋

乍恐御達申上候御事

今般格別之

思召を以窮民共江御救与して金三拾両
被下置冥加至極難有奉存早速困

窮之者共取調白米二而割符仕

御仁慮之程為申聞別紙之通四度二

頂戴為仕申候仍之此段御達奉
申上候以上

亀崎村阿

与頭

万助

次右衛門

又藏

大藏

新美与右衛門

間瀬佐次平

竹内甚八

伊藤孫左衛門

伊藤孫七郎

年寄 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

亀崎村 間瀬兵左衛門

御地頭様

御救米頂戴人前連判帳

三合 清太郎 後家

三合 庄助 後家

中略

三合 池下 幸左衛門

米々式石〇六升三合

家数メ式百九十軒

金壱両一付白米三斗式升成

金三拾両分九石六斗

内 武石六升三合 一月廿一日

武石六升三合 同廿五日

武石六升三合 同廿八日

三石武斗式升三合 四月一日

壹軒一付四合増

メ九石四斗一升式合

外壹斗八升八合 枝切れ

メ九石六斗也

四月十九日追知分 与左衛門ノたい

乍恐御断奉申上候御事

今般干海老急御入用二付尺位之折詰
壱箱外二袋入式袋二而代三三百文分差出
可申様被仰付奉畏早速穿鑿仕候處
漸式升入壱箱調申候付瓦七角七箱詰二
仕差出申候何分時節後運(遅)候品二而調兼
何共奉恐入候仍之御断旁奉願上候以上

酉四月

柳原

庄屋 新美与右衛門

亀崎村

御役所

乍恐御達申上候御事

東本願寺租師聖人御年廻二付先月

十一日出立二而上京仕候處當月十五日

帰國仕候依之御達奉申上候以上

酉四月

評之上氏神神慮窺候來ル八月与

申御鬪二付村中治定仕候仍之此段

御達奉申上候以上

酉二月

龜崎村
庄屋

与右衛門

柳原

御役所

鳴海

御陣屋

文久元年

酉三月

難渋者人數書上帳

知多郡龜崎村

窮民

惣人數千三百四人

内訳

式百四拾八人 餓死二三茂可及程之者

六百八拾四人 施物貰ひ受漸相凌候程之者

三百六拾八人 難渋者

右之通御座候仍之御達申上候以上

酉三月

龜崎村

庄屋 竹内甚八

与右衛門

乍併格別出精取斗ひ申上付当月

中二者皆出来可仕候間乍恐今般

御見分之儀何卒御差延被成下

置候様奉願上候右願之通御聞済

被成下候八ゝ難有仕合可奉存候以上

酉二月

鳴海
御陣屋
庄屋 間瀬佐次平
龜崎村

右之通御座候 仍之御達奉申上候以上
酉三月
龜崎村
庄屋 間瀬佐次平

庄屋
与右衛門

柳原

御役所

鳴海

御陣屋

※以下略（米取引の承諾依頼）

乍恐奉願上候御事

一当村濱亥新田御普請之儀早春_ル

取懸り申候得共何分ニ七夕干方悪敷

一日之内聊之間泥土持方出来不仕

迷惑至極仕候右之仕合ニ付御普請

出来方不事延引仕奉恐入候得共

前顯奉申上候通汐引方悪敷

海泥尺々處取方出来不仕

乍恐御尋ニ付御達申上候御事

当年栖江付村々助情を請相瀆

罷在候程之難渋者名前家内人

数共委取調來ル廿日迄ニ可申出旨被

仰渡承知奉畏候則左ニ申上候

中略

一 家内四人 太郎兵衛

惣メ千百九十五人

メ千三百四人

さし引メ百〇九人者名前吟味之事

表紙

万延二年

西年願達留

正月 亀崎村

本文

一米

右八同郡横根村金左衛門方より買請

船積二而引取申度奉願上候 尤

金左衛門より御願申上候筈二御座候間

右願之通早速御聞落被下置候ハ、

難有可奉存候以上

鳴海
御陣屋

右平三郎奉願上候付奥印仕候以上

右庄村屋 与右衛門

※以下略（米取引の承諾依頼）

亀崎村

米買主 清次郎

酉正月
鳴海
御陣屋

一日の出印酒八樽 当村平三郎 製

右清次郎奉願上候付奥印仕候以上

右庄村屋 与右衛門

乍恐御達旁奉願上候御事

当地濱亥新田御普請所之儀有脇村
丑新田堤横手堤海風留去九月より
当十一月下旬迄一都合五度海風留仕

漸十一月下旬迄一九歩通出来仕候得共

幸堤之儀者追々横手堤海風留

牧底之儀二而法外之金子入用二相成

地主共於為ても甚夕難渋仕未夕

幸堤之儀者式歩通程なりて八出来不仕

何分汐偏方存外高汐二而泥乗取方

六ヶ敷山土二而八疋も持堪不申令替

緩和相從不申候半而八御普請出来方

行届兼甚以奉恐人候得共何卒二月

下旬迄之皆出来二御日延奉願上眞候様

地主共頼出申候間右願之通乍恐

乍恐奉願上候御事

高百五石之内

鳴海
御陣屋

御達申上候以上

亀崎村庄屋 与右衛門

一米拾五石

右者同郡大府村儀七方より買請

船積二而引取申度奉願上候 尤

儀七方より御願申上候筈二御座候間

右願之通早速御聞落被下置候ハ、

難有可奉存候以上

亀崎村

米買主 平三郎

酉正月
鳴海
御陣屋

乍恐奉願上候御事

た旨の報告。

・御船手奉行の要望に対し、乗捨て船などの調査報告。

・御船奉行所に対し、藩米の江戸送りについて、手間賃の値上げ依願書。

・鳴海陣屋の要望に従い、新米相場の報告。

・鳴海陣屋に対し、皇女和宮下向の人足を送った内容の報告。

・同、人足が必要とする炊事道具・寝具等と、総勢七拾人であることの報告。

・鳴海陣屋に対し、村の罪人の牢扶持納付の報告。

・鳴海陣屋に対し、藩家老渡邊半蔵より呼び出しのあつた者を連れて行つた旨の報告。

・鳴海陣屋に対し、窃盗品の春麦と知らずに購入した者が村にいる旨の報告。

・鳴海陣屋に対し、三州西尾での米切手の問題を内済した旨の報告。

・御船手役所に対し、藩米の移送につき報告。

以下、翻刻文を掲載する。

- ・鳴海陣屋に対し、亥新田の普請の日延の願上書。
- ・鳴海陣屋に対し、昨年の凶作につき、困窮者の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、昨年の凶作につき、困窮者を分類（餓死の恐れ、施せば耐えられる、難渋者）した数の報告。
- ・柳原御役所に対し、窮民お救い金三十両を白米にて配給した旨の報告。
- ・柳原御役所に対し、個人別のお救い米の配給高を報告。
- ・柳原御役所からの急な海老の注文に対応した旨の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、東本願寺の聖人御年廻につき、上京したい旨の嘆願書。
- ・御船手奉行所に対し、諸国廻船一艘を解体する旨の報告。
- ・御勘定所に対し、前年前々の下用金の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、前年の凶作による難渋者の報告。
- ・勘定所に対し、難渋者に対するお救い米を会所に供出した村人のリストの報告。
- ・勘定所に対し、難渋者に対するお救い米を自宅で供出した者のリストの報告。
- ・鳴海陣屋に対し、藩のお救い金を困窮者一人に対し三百文の割で渡した旨の報告。
- ・鳴海陣屋、柳原御役所に対し、本年の氏神祭礼期日の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、行方不明者の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、出奔人の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、窃盗事件の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、窃盗事件の報告。
- ・柳原御役所に対し、亀崎村から出奔した者が窃盗を働いた件に関する報告。
- ・鳴海陣屋に対し、皇女和宮下向の人足として出発する荷送りの準備ができる

亀崎文書「酉年願達留」の記録

半田市立博物館専門員 柴田 邦彦

半田市立博物館所蔵の亀崎文書資料 No.1 冊1 「酉年願達留」を翻刻し、亀崎村が万延二年（文久元年）（1861年）に御役所に提出した願達しの記録をまとめた。

その概略は、以下のとおり様々な内容となっている。

- ・鳴海陣屋（一部柳原御役所、横須賀陣屋）に対する報告、依頼文。
- ・鳴海陣屋に対し、お酒の注文に応じたとの連絡。
- ・鳴海陣屋に対し、米の取引許諾願。
- ・鳴海陣屋に対し、浜新田の普請の期日を延期してほしい旨の嘆願書。
- ・鳴海陣屋に対し、桐油採取用木の本数報告の要望に対し、木も桐の実も持つている者がない旨の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、藩米、藩所有の材木を高割りにて江戸へ運ぶ指示に対し、船が無く対応できない旨の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、木綿の不正売買につき、罰金を上納する旨の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、お金の問題（事件）があつたが、内済した旨の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、組頭仙助の名前を「万助」に変更の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、神事を八月に延期する旨の報告。

目
次

亀崎文書「酉年願達留」の記録

半田市立博物館専門員
柴田邦彦

紀
要

半田市立博物館 年報・紀要

令和4年度

発行日 令和6年3月

編集発行 半田市立博物館

半田市桐ヶ丘4-209-1

印刷 半田中央印刷株式会社

